



祝 辞

沖縄県土木建築部
部 長 安慶名 正 行
(代読) 漢那 政弘(土木建築部次長)

県民・社会への貢献に敬意

本日、沖縄県設備設計事務所協会並びに社団法人建築設備技術者協会九州支部沖縄会の、平成14年度通常総会が盛況裏に終了したことに対し、お祝いを申し上げます。また、日頃から本県の土木建築行政に、多大な御協力をいただいている皆様に御挨拶を申し上げるとともに、親しく懇親する機会をいただき、感謝申し上げます。

沖縄県設備設計事務所協会並びに社団法人建築設備技術者協会九州支部沖縄会におかれましては、平素より建築設備等技術の調査研究、講習会、研修会の実施等の事業を通じ、建築設備の健全化を図ることにより、県民生活の快適さの向上に寄与されてまいりました。また、沖縄県設備設計事務所協会におかれましては、チャリティー事業の収益金を社会的弱者のために寄贈するなど、広く社会に貢献されてきたことに敬意を表します。

さて、長びく景気低迷の中、建設業界を取り巻く環境も一段と厳しさを増していますが、本県においては、本土復帰後3次にわたる沖縄振興開発計画の実績を踏まえつつ、沖縄振興の新たな展望を切り開くため、沖縄振興計画の素案をとりまとめたところであります。この中では、大学院大学の設置を始めとする卓越した機関の誘致・創設による拠点形成や、新事業の創出、既存産業の高度化、文化的所産の保存活用、目的志向型の戦略的・重点的生産基盤の整備、軍用跡地の有効利用などが基本的課題として提起されております。これらの課題を解決していくためには、皆様方の御理解と御協力が不可欠なものと考えております。

ところで、昭和58年の建築士法の改正により、建築設備士の制度が設けられ、建築設備士の資格が一段と明確化されたところでありますが、皆様方の御協力によりまして、本県における建築設備士の登録者数も百人を越え、当該制度が広く浸透しているものと理解しております。今後とも、建築設備の専門技術者として適切なアドバイスを行うことにより、本県の建築物の質の向上に寄与されるようお願いいたします。

加えて、沖縄県設備設計事務所協会におかれましては、法人格の取得に向け準備を進めていると聞いておりますが、これまでの実績が認められ、早い時期に公益法人の取得ができるよう、御期待申し上げます。

また、社団法人建築設備技術者協会九州支部沖縄会におかれましては、今後とも建築設備技術者の資質及び社会的地位の向上等に努力されるよう希望します。

終わりに、御参会の皆様のみますの御発展と、御活躍を祈念いたしまして、あいさついたします。



一般社団法人 沖縄県設備設計事務所協会